

こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2021年7月4日

本質と責任を覆い隠す市の「回覧板」

結局「改革」(＝改悪)をガマンせよと云うだけの話

市が各世帯への回覧板で「意見募集中」と「財政危機」を煽っています。井上議員は、「財政『危機』の本質と責任を覆い隠すもの。結局は、改悪をガマンせよというだけの話」と、以下のように批判しています。

○市長の言う『改革』とは市民にとっては改悪のこと。間違っただけを葉を使つてはいけません。
 ○「市民生活を守る」とか「魅力あふれる京都」などとケムにまいている。
 ○「危機的な財政」を

口実に、「倒産」などと市民を脅かしてしますが、その「危機」が本当だとしても、その責任は歴代市長と予算に賛成してきた議員にある。市民には責任はない。「市内高速道路など大型事業のムダ遣いの反省がない」

○今も、北陸新幹線誘致や芸大移転など大型事業を推進しようとしている。
 ○国の大企業減税が市の法人市民税減収に連動、また地方交付税公費金という国から市へのお金が減らされてい

るのに、「国の財政も大変」などと、国に追随。軍備拡大や政党助成金など、国にはお金があるのに。
 ○回覧では「市独自の施策の見直し」とだけで、国保料や保育料値上げなど、具体的な改悪内容は全然書かれて

市民の方のご意見を紹介します。
 ○地下鉄の契約変更や高速道路など大型事業が間違いだった。もって市電を重視して、大

市民意見の具体例

○「倒産を意味する財政再生団体」とのことですが、「再生団体」自体が国の自治体への干渉の代物です。
 ○市が「破綻」と言っているのは、借金が返せなくなる、「という意味ですが、では何年くらい返さなければならぬ」という数字は、全然明らかにされていません。等々

型車の市内流入や荷下ろしの時間制限をするなど、ムダを排し、環境にやさしいまちを。
 ○車より人間にやさしいまちを。
 ○「財政危機」だとしても、それは市長の責任だ。まず反省すべき。

○ビジョンがなく、行き当たりばったりだ。
 ○首都圏への人口流出問題を何とかしてほしい。
 ○人口減少とオーバー



市政報告学習会開く

6月25日、下京・南区合同、三市議共催で、市政報告学習会を開催、市長の「行財政改革計画案」への市民意見の応募を呼びかけました。

同計画案は、「財政危機」を理由に国保料や保育料、学童保育利用料の値上げ、敬老乗車証の改悪、健康増進センターの見直し(廃止?)など、市民サービス切捨てのオンパレードです。

市民意見は、「国保料値上げしないで、敬老乗車証は今のままで」等と紙に書いて FAX で送るだけ。郵送でも議員に渡して頂いても OK、などと意見交換しました。「市長はお金がないと言いながら、いくらかかるか分からない北陸新幹線を推進しようとしている。地下水に最悪の影響が出るのに」などのご意見も頂戴しました。



市長の「改革計画案」では、国保について、「見直しを検討」としか書かれていないが予定はどうか、と井上議員が追及。市は「来年度予算で提案」とししぶく答えました。

国保料 値上げは来年度

ツリーズムの問題を何とかしてほしい。
 ○宿泊施設の過剰建造の問題を何とかしてほしい。
 ○私たち社会的弱者にしわ寄せがきてほしくない。



食料支援の取組がありました(6月20日、六孫王神社)